

## 議事概要

日 時：平成27年9月14日（月） 14：00～16：00

場 所：中央合同庁舎3号館 8階 国際会議室

各委員からの資料説明及び職業斡旋者への調査、事例調査、元自動車整備業に従事していた者への調査について事務局から説明を行い、各事前調査の結果に基づき、今後実施予定である、自動車整備要員に対する労働環境等に関する調査（アンケートの内容）について、意見交換が行われた。次回の開催は12月～1月で調整となった。

- 元自動車整備業に従事していた者の転職（離職）理由のなかで、賃金や、労働時間、休日・休暇が上位にくる傾向については全産業同じ傾向である。賃金については増加させることが難しい部分はあるが、労働時間や休日・休暇といった部分は取り組み方によっては変えられることがポイントではないか。
- ディーラー系と専門系で分けた分析軸はあるものの、分析の深度化といった意味では、中小企業や零細といった事業者規模の分析も必要ではないか。
- 女性向きに設問されているなかの「労働環境」だとか、「フレキシブルな働き方」を聞いているが、昨今もう女性だけの問題でもなく、若い方みなさん希望する条件であるので、企業全体として、そういった取り組みがないのか、仮に女性限定であるのであれば、回答で補足してもらうなどの設問の工夫が必要ではないか。
- 地域に定着した働き方をしたいという要望もあると思うので、転勤の有無についても、アンケートで聞く必要があるのではないか。特に女性においては、育児や家事もあると思うので、転勤の有無による考え方の違いは考えられる。
- 事業者の方への設問については、経営方針に関する質問があってもよいのではないか。
- 業界的にみて、地元就職が多い傾向にあるので、出身地と就業先の関係がわかるようにできないか。

以 上